

平成30年01月27日

◎平成29年度 東京防災学習セミナー(発展編)

(地域の危険を知る-地域ハザードマップの作成-)

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

本日、東京都総務局総合防災部防災管理課 及び当防災協議会が主催する、首記セミナーが開催されました。青少対行事などの重なりや過日の大雪の為もあるかも知れませんが、20名弱の参加となりました。やや少人数ではありましたが、質疑応答も含めた有意義で熱心な学習会となりました。

1. ご挨拶

防災協議会 椎野本部長



東大和市防災安全課 今里様



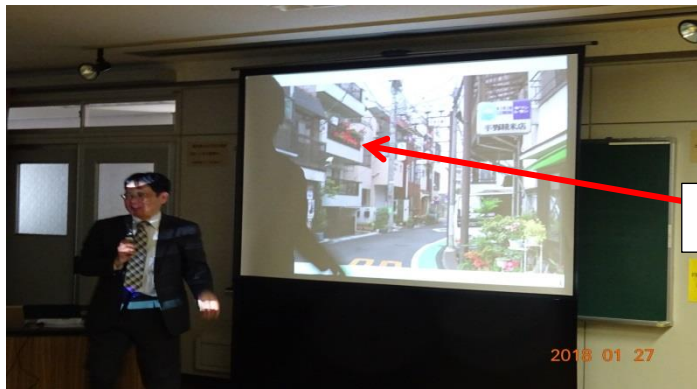
2. 筑波大学大学院 准教授 梅本博士による、「地域の危険を知る-地域ハザードマップの作成-」のご講義。



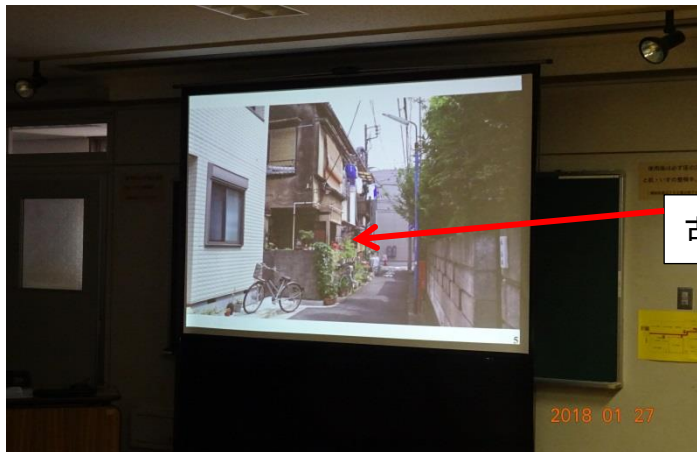
3. 東京都より委託を受けた株式会社イオタ様(加藤様、神永様)(セミナーの進行役を兼ねる)の、「“東京防災”を活用した、生活再建支援制度・日常生活支援制度」の紹介。



4. 梅本博士ご講義による、「防災マップ」作製の為の「防災まち歩き」において、「防災の目」を養うことの事例。（どこが危険と思われますか？）



鉢植えの落下



古家やブロック塀の崩壊



鉢植えのくずれ



狭い歩道と、ブロック塀の崩壊

～地域の危険を知る-地域ハザードマップの作成～

日時：平成30年1月27日午後2時00分～午後3時30分

団体：南街桜が丘地域防災協議会

主催：東京都総務局総合防災部防災管理課

進行：株式会社イオタ（東京都受託業者）

講師：梅本 通孝（筑波大学大学院システム情報工学研究科 准教授）

次第

1 開会

- セミナーの進行説明

2 Cコース発展編：地域の危険を知る-地域ハザードマップの作成-

- 講師による講義

「防災の目」を養うための「防災まち歩き」の準備と要点、及びその結果を「防災マップ（地域ハザードマップ）」としてまとめる方法と、それに基づいた防災活動の展開について、事例を示しながら説明します。

- 質疑応答、意見交換

3 「東京防災」を活用した講義

- 生活再建支援制度、日常生活支援制度の紹介

＜配布資料＞

- 講義資料「地域の危険を知る-地域ハザードマップの作成-」
- まちかど防災訓練
- リーフレット「日常備蓄を進めましょう」
- アンケート

「ハザードマップあれこれ(3)」

□J-SHIS 地震ハザードステーション
http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/

COURSE C

地域の危険を知る
—地域ハザードマップの作成—

平成29年度東京防災学習セミナー(発展編)

平成29年度東京防災学習セミナー

「ハザードマップ」と「防災マップ」

□ハザードマップ
ある想定された規模の災害外力による影響の範囲と程度を評価・計算した結果を地図上に表示したもの。
▶ 行政による巨視的な評価。
▶ 各地のデータが揃う指標(数字)に基づき計算。

□防災マップ
ハザードマップなどを参考にしつつ、よりキメ細かに地域内の危険性やそれへの対処方法、関連情報を記入した地図。
▶ 住民の視点で作成。
▶ 地元密着・特化型で地域の実情を反映。

平成29年度東京防災学習セミナー

「ハザードマップ」あれこれ(1)

□国土交通省
ハザードマップポータルサイト
http://disaportal.gsi.go.jp/index.html/

- 全国の市区町村における各種ハザードマップへのリンク集。

□千代田区洪水ハザードマップ
http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/bosai/suigai/map.html

- 荒川流域で200年に1回程度の大雨で下流域での堤防決壊を想定した際の千代田区内の浸水範囲・浸水深など。

平成29年度東京防災学習セミナー

「ハザードマップ」あれこれ(2)

□江東区大雨浸水ハザードマップ
http://www.city.koto.lg.jp/seikatsu/douro/7509/13389.html

- 大雨による内水災害のハザードマップ。

□あきる野市土砂災害ハザードマップ
http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=ser&frmId=1957

- あきる野市養沢地区における急傾斜地崩壊、土石流の土砂災害警戒区域。

平成29年度東京防災学習セミナー

「ハザードマップ」あれこれ(3)

□J-SHIS 地震ハザードステーション
http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/

- 30年間で震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図。

□江戸川区 揺れやすさマップ
http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/moshimo/bosai/saigaishien/yureyasusamap/

- 江戸川区に影響のあるプレート境界の地震、直下の地震に関する50mメッシュごとに震度の最大値を表現。

平成29年度東京防災学習セミナー

「ハザードマップ」あれこれ(4)

□東京の液状化予測
http://to-ekijoukayosoku.jp/start/03-jyohou/ekijouka/layertable.aspx

2) 運営側の役割分担
3) 参加者の設定と人数の調整

□東京都 地震に関する地域危険度測定調査(第7回)総合危険度
http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/bosai/chousa_6/home.htm

- 町丁目ごとに地震に関する危険性として「建物倒壊危険度」、「火災危険度」、「総合危険度」、「災害時活動困難度を考慮した危険度」について、それぞれ相対的に評価。

平成29年度東京防災学習セミナー

「防災マップ」手作りの意義

親賞用の“作品”を作るのではない

- 住民自らによる、わがまちの見つめ直し。
- 多様な人々による気づきと情報の共有。
- 災害時に的確に対応・行動するためのセンスの向上。
- 地域における防災・減災の取り組みのきっかけ。

平成29年度東京防災学習セミナー

防災マップ作成のあらまし

マップそのものばかりでなく、一連のプロセスが重要

1. 事前準備
2. まちあるき
3. 班別マップの作成
4. 全体マップの作成
5. マップで伝える

平成29年度東京防災学習セミナー

平成29年度東京防災学習セミナー

開催のお知らせ

参加
無料



©株式会社イオタ

※
ぜひ「東京防災」を持って
ご参加ください

地域の危険を知る -地域ハザードマップの作成-

日時:2018年1月27日(土)14:00~15:30

場所:市立南街市民センター(東大和市南街5-32)

講師:梅本通孝 (筑波大学大学院システム情報工学研究科 准教授)

※講師は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【プロフィール】

東京消防庁火災予防審議会 元委員

1996年-2003年 日本原子力研究所 研究員 2003年-2006年 筑波大学大学院システム情報工学研究科 博士特別研究員

2006年-2007年 筑波大学大学院システム情報工学研究科 研究員 2007年-2015年 筑波大学大学院システム情報工学研究科 講師

2015年-現在 筑波大学大学院システム情報工学研究科 准教授

プログラム

開会	・会の進行説明
地域の危険を知る -地域ハザード マップの作成- (75分)	・講師による講義 「防災の目」を養うための「防災まち歩き」の準備と要点、及びその結果を「防災マップ(地域ハザードマップ)」としてまとめる方法と、それに基づいた防災活動の展開について、事例を示しながら説明します。 ・質疑応答、意見交換 講師を交えて、質疑応答や意見交換を行ないます。 参加者の皆様と共に、「今後の地域防災対策のきっかけ」となる場を設けます。
東京防災紹介 (15分)	・生活再建支援制度、日常生活支援制度の紹介

※「東京防災」とは？

各家庭において、首都直下地震等のさまざまな災害に対する備えが万全となるよう、一家に一冊常備され、日常的に活用できる完全東京仕様の防災ブックです。各家庭に配布。現在は1冊140円(税込)で販売、電子書籍の取扱いもあり。

詳細は、<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/1002147/>をご覧ください。

【運営・お問い合わせ】株式会社イオタ(東京都受託業者) 電話:03-3523-1900

【主催】

南街桜が丘地域防災協議会
東京都総務局総合防災部防災管理課